

動脈硬化症について

臨床検査科 佐藤 文昭

動脈って？

動脈とは、心臓から送り出される血液を全身に運ぶパイプのことで、心臓に血液を押し戻すためのしなやかさや、簡単には破れたりしない強さと弾性を持っています。

どんな人が動脈硬化症になるリスクが高い？

動脈硬化症は一種の老化現象で個人差はありますが、誰もがなる可能性があります。しかし、高血圧、高血糖、脂質異常症、高尿酸血症やストレス、喫煙などの関わりが多いと言われています。これらの因子が多ければ、動脈硬化症になる危険性が高まります。こうした生活習慣病を抱える人は動脈硬化症の進行が早いので、早期の検査が必要です。

進行するとどうなるの？

心臓に大きな負担がかかるため、高血圧、心肥大、心不全などの心疾患につながります。血管が狭くなったり、詰まったりすることで、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症などを引き起こします。また、血管が破れると脳出血の危険性も。この様に、直接死につながる症状を引き起こす危険性を持っています。



どんな検査でわかるの？

簡易的なものにABI検査、CAVI検査があります。

ABI（足関節上腕血圧比）で何がわかるの？

一般的に血圧は腕と比べて足の方が高いです。足首と上腕の血圧を測定し、その比率を計算します。動脈の内側に脂質（コレステロールが主成分）が沈着し、内膜が厚くなることで起こりうる血管の狭窄や閉塞などを推定することができます。

CAVI（心臓足首血管指数）で何がわかるの？

血液を送り出す動脈の内側の圧力（血圧）が変化したときの膨らみ具合をみることで、血管のしなやかさ（硬さ）がわかります。測定値から血管年齢が推定できます。

動脈硬化をくいとめるには？

適度な運動、バランスの良い食事、薬物による治療などがあります。医師の指示に従ってください。

当院においても、動脈硬化症における検査を多岐にわたり行っています。気になっている方や、ご心配な方は当院スタッフまでお気軽にご相談ください。